

北海道大学低温科学研究所共同研究集会「大気・雪氷・海洋物質交換研究集会」プログラム	
10:00	
原 圭一郎(福岡大)	趣旨説明
10:05	南極関係 その1
平沢 尚彦(極地研)	南極の暖候期における氷床表面の昇華と融解
杉浦 幸之助(富山大)	南極の飛雪について(仮)
11:05	室内実験・観測計画・モデル その1
原 圭一郎(福岡大)	海塩・ハロゲンサイクルで狙う所
藪下 彰啓(九州大)	氷表面上でのヨウ化物イオンと酸性ガスの反応によるヨウ素放出
12:05	昼食
13:00	室内実験・観測計画・モデル その2
野村 大樹(北大)	藪下さんと実施している研究の紹介
服部 祥平(東京工大)	大気酸性度(pH)の重要性 -北極とチベット高原(Third pole)の話題から-
須藤 健悟(名古屋大)	極域と関係する化学気候モデル実験のこと
竹村 俊彦(九州大)	気候モデルによる極域エアロゾルのシミュレーションに関する話題
15:00	休憩
15:20	北極関係の話題
的場 澄人(北大)	ArCSII一季節海氷域の水物質循環の紹介、SE-Domeアイスコア MSA解釈について
飯塚 芳徳(北大)	SE-Dome アイスコアの化学成分に関する話題
野村 大樹(北大)	MOSAICの紹介をしたいと思います
	空きスロット
	終了予定(17:20)
19:30	Zoom 会議室閉室
1/6	
10:00	南極関係 その2
津滝 俊(極地研)	雪尺網・雪尺列観測による南極 S16-ドームふじ間の表面質量収支の空間分布評価
森野 祥平(名古屋大)	南大洋域の気候変動が南極ドームふじ基地の気候に及ぼす影響の評価
鈴木 香寿恵(法政大)	昭和基地における降雪をもたらす雲の自動検出手法の検討
木野 佳音(東京大)	南半球環状モード(SAM)がドームふじ降水酸素同位体比に与える影響
12:00	昼食
13:00	南極関係 その3
原 圭一郎(福岡大)	南極対流圏中の新粒子生成
石野 咲子(極地研)	三酸素同位体組成から示唆された東南極における特徴的な大気硫酸生成過程
	総合討論
	南極X期、ArCS II、CATCH workshop その他
栗田	オフライン全球水輸送モデルを使った水循環解析
Zoomのアクセス情報が必要な方は的場まで連絡ください。	